
プールサイド

ウラレ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
プールサイド

【コード】
N8772Q

【作者名】
ウラレ

【あらすじ】
えっこれはー！と思ったが別に普通の文学少年であった まる

蛙がプールの下で寝転がる。塩素にやられたか、それとも

視界は闇だった。目を瞑り、もう一度開けると今度は藍だった。微かな野球場の光。プールの骨格が水面に映りゆらゆら揺れている。

静かにプールの中に足を浸す。再びゆらゆらと揺れる水面。ひたひたと、湿った足音。そちらに意識を向けると、青い葉。そして黒を水で薄めたようなそこだけほんやりとした白い影。30メートルの海を泳ぎに来た、とても浅はかな夜だった。

鮮やか過ぎる季節だった。

目を閉じると瞼の中にはオレンジ色。

夏、という季節も僕にとっては寒々しい季節でしかなかった。

単純に馬鹿騒ぎ出来るものと、強迫願望に囚われるもの。そして僕はそのどちらでも無い。

ただ、じつと見ているだけの人間。

瞼の中で息を吐く。何故彼女はこんな馬鹿げた考えをしたのか。そして彼女が何故僕を誘ったのか、という疑問。

覚えている必要性のない記憶が頭の中を堂々巡り。

バットを振る音。ボールを蹴る音。奇声。屋上からの夕景。

僕に投げかけられた疑問。古ぼけた自転車。馬鹿げた誘い。

頭の中が雁字搦め。ゴミ箱に捨ててしまおう。

どぼり。

オレンジ色に青が上から注がれる。

撥ねる水の音。微かに肌に触れる水。

染めた赤髪が一瞬だけ空を飛ぶ。

去年染めたと彼女は言っていた、はずだ。
まるで水彩画のような景色だ。弾けた傍から滲んでいく。
涙を溜めたのはきつと眠気のせいだろう。
溜息を吐く。こんなに物憂げなことを考える必要はあるのか？
そう、きつとこれは闇と眠気のせいだろう。
どぼり。あれは背泳ぎだろうか？
後ろめたさはもう捨てたはずだった。
視界には闇と塩素水と赤と青と白。

そういえば、と僕はもう一度目を瞑る。
夏も残り僅かだった。微かに赤めく葉が通りを支配している。
そしてそれと共に飛び交う言の葉。僕は白黒、一人浮いている、
そんな風景を思い出した。

僕は嬉しかっただろうか。他人と接点を持って、僕は嬉しかった
だろうか。

いや、嬉しいだろうか。

長い息を吐く。彼女は僕に話してくれた。髪の毛を去年染めたと
話してくれた。

彼女は僕に話してくれた。秋が好きだと話してくれた。
彼女と僕は似たり寄ったりだろうか。もしくは僕の儂い空想だろ
うか。

彼女は別に腕に青痣も無い。彼女は別に楽しいふりをしている訳
でもない。

彼女と僕は接点が無い。そして彼女が僕を誘った理由は？

どぼり！

は、と視界に意識を戻すと一面の闇。

其処からうつすらとプールの骨格が滲んだように見える。

風音が耳を支配する。体にひたつく、冷たい風。

闇に視界を慣らす。冷風。まだ8月だと言っのに。そしてまた水の音。

オレンジ、白、赤、青、嗚呼、このように見ると今日はとても鮮やかで騒やかな夜だ。

今となつては何の現実感も無い言葉が脳を巡る。

……解らない。僕は何も解つてない。

すっかり闇に慣れた足どりで、こちらに近づく影。

「あんた本当に馬鹿なのね」

再び目を開けると肌に纏わりつく青い髪。

そしてバケツを持った笑う赤髪の少女。

滲む服色は、青。

(後書き)

ウラレです。
じほう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8772q/>

プールサイド

2011年10月8日18時11分発行